2017年度事業報告書

特定非営利活動法人　川崎市民石けんプラント

１　事業の成果

　　「3ヶ年中期計画」の2年目に老朽化した設備の一部を更新することができました。

　　川崎市民石けんプラントが石けんやBDFにリサイクルしている廃食油は、処分に困る廃棄物から価値あるものへと変わってきました。市民団体と進めてきた市民回収の油も有価物と判断されました。10年以上資源化を進めてきた一つの評価ととらえています。今後も廃食油を資源とする域内資源循環・持続可能な社会の実現に向け活動していきます。

２　事業内容

（１）特定非営利活動に係る事業

　①　廃食油を回収し、回収した廃食油でリサイクル石けんを製造、販売する事業

・内容

　　廃食油回収量　　71,255ℓ

　　石けん製造量　　54ｔ

　　売り上げ　　　　23,276,435円（前年比94.7%）

　　　　2017年度も市立小学校給食室に食器洗いの洗剤として納品しました。

　　　　液体石けん「きなり姫」の製造は順調でしたが、売り上げ全体の伸びにはつながりませんでした。

・日時　　　　2017年4月から2018年3月まで

・場所　　　　川崎市川崎区塩浜2-21-3

・従事者人員　9人

・対象者　　　一般市民及び団体

・費用額　　　18,775,191円

　②障害者の地域活動支援センター運営事業

　　ア　地域活動支援センターサボン草

・内容

　年度初めは11人の登録でスタートし、新規の方、退所の方等あり、年度末は10人でした。今年度の1日当たりの平均通所者は6人でした。利用者の力量を職員間で確認し、石けんプラントの作業を進めました。

・日時　　　　2017年4月から2018年3月まで

・場所　　　　川崎市川崎区塩浜2-21-3

・従事者人員　7人

・対象者　　　通所障がい者

・費用額　　　14,466,643円

イ　地域活動支援センターサボン草Ⅱ

・内容

　年度初めは22人の登録でスタートし、新規の方、退所の方等ありましたが、年度末も22人でした。多種多様な障害を持つ利用者に対応しながら、石けんプラントの作業・請負の作業を行い、年間の1日当たりの平均通所者は12人でした。

・日時　　　　2017年4月から2018年3月まで

・場所　　　　川崎市高津区梶ヶ谷3-1-13

・従事者人員　8人

・対象者　　　通所障がい者

・費用額　　　18,538,798円

　　アとイの費用額合計　33,005,441円

③環境と福祉の共育センターとして工場を利用した見学、

イベント等の市民活動協力事業

・内容

　　工場見学や出前講座等の受け入れは36件もありました。

　　中学生の修学旅行、大学生のフィールドワーク、研究者の取材等内容は様々でした。水環境のこと、川崎における域内資源循環（石けん、ＢＤＦ）のことを伝えました。

・日時　　　　207年4月から2018年3月まで

・場所　　　　川崎市川崎区塩浜2‐21‐3

・従事者人員　11人

・対象者　　　一般市民及び団体

・費用額　　　176,167円

④バイオディーゼル燃料化事業

・内容

CO2削減効果のあるＢＤＦの製造は、燃料規制をクリアさせなければならず、実験走行になっています。専門機関、関係者に相談し今後の改善へ向け努力しました。

・日時　　　　2017年4月から2018年3月まで

・場所　　　　川崎市川崎区塩浜2-21-3

・従事者人員　4人

・対象者　　　一般市民及び団体

・費用額　　　1,632,035円

（２）管理費

・日時　　　　2017年4月から2018年3月まで

・場所　　　　川崎市川崎区塩浜2-21-3

・費用額　　　3,338,433円